

2 指導案1「よりよい食品の選び方を考えよう」(本時4/24)

〔目標〕

- ・自分の生活に合わせた食品選択の基準について意欲的に考えることができる。
(関心・意欲・態度)
- ・多数の食品の中からどれを選択するか、様々な食品選択の基準について根拠を明らかにして考えることができる。
(工夫・創造)

〔指導過程〕

場面	学 習 活 動	教師の支援及び留意点	評価
導 入	1 学習課題をつかむ。 よりよい食品の選び方を考えよう	事前アンケートの結果を提示し、食品を選ぶときに見落としていることはないか、問い掛ける。	
展 開	2 安全で健康を考えた食品を選ぶためにウイナ - 4品からどれを選択するかを考える。 A 色の薄いウイナ - B 赤いウイナ - C 2袋セットになっているお徳用ウイナ - D パッケージにキャラクターが描いてあるウイナ - (1) グループで話し合う。 ・食品添加物が入っていない色の薄いウイナ - がよい。 ・色のきれいな赤いウイナ - がよい。 ・値段も比較的安くて、たくさん入っているお徳用ウイナ - がよい。 (2) クラスで話し合う。	興味をもって検討させるために、生徒の身近な食品(ウイナ -)を取り上げる。 価格、添加物、キャラクター、原材料などに特徴があるものを用意し、それが分かりやすいように提示する。 価格の違いに気付かなければ、それぞれの食品の値段(100gあたり)を掲示できるようにしておく。 司会者などをこちらで指名し、話し合いがスムーズに進むようにする。 選んだ理由を確認するように助言する。	ウイナ - の食品添加物(発色剤)についての質問や疑問が出てきたときは、それを取り上げ、品質表示を解説するきっかけにする。 食品添加物が入っていないものだけを食えるという意見に偏ったときは、品質表示を見ながらよりよい食品を選ぶことが大切であることを助言する。 自分ならどのウイナ - を選ぶのか考えることができたか。(グループでの話し合いの様子、ワークシート)
ま と め	3 自分が食品を選ぶ場合に気を付けたことをまとめる。	自分の生活に合わせたよりよい食品の選び方を考えることができたか。(ワークシート)	

〔評価〕

- ・4種類のウイナ - の品質表示を比べたり、友達の考えを聞くことにより、自分の生活に合わせた食品選択の基準について意欲的に考えることができたか。(話し合いの様子、ワークシート)
- ・多数の食品の中からどれを選択するか、品質表示の見方を知ることや友達の考えを参考にすることで、様々な食品選択の基準について根拠を明らかにして考えることができたか。(話し合いの様子、ワークシート)